クローズアップ・保険流通

代理店が葬儀事業に参入

㈱ライフステーション

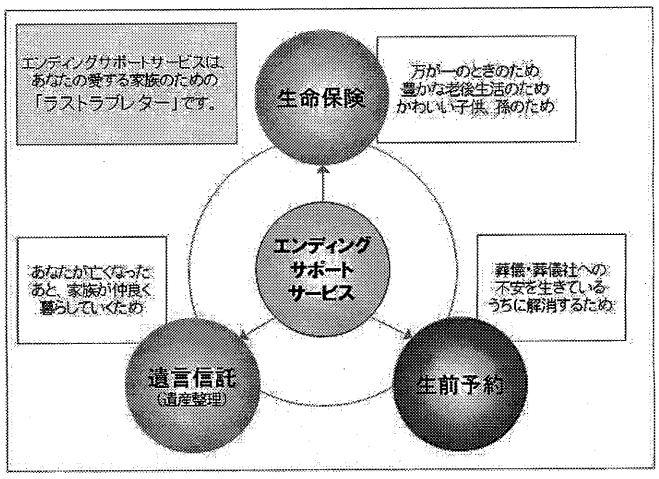
残された家族のために 人生のエンディングをサポート

来店型ショップ「ほけん情報館」を運営している保険代理店㈱ライフステーション（山口真社長、東京都立川市）は、昨年12月から葬儀事業に参入し、保険、遺言信託と合わせた独自の「エンディングサポートサービス」の提供を開始した。「人生の終末期におけるワンストップサービス」ともいえる新サービスが消費者のニーズをとらえて成長していくのか、今後の動向が注目される。

山口氏

葬儀事業のブランド名は「小規模専門葬儀社ライフセレモニー」。比較的少人数で行う葬儀を取り扱い、「お見送り葬（火葬場での読経のみ）」「自宅葬」「身内葬」「家族葬」の4プランを用意している。事前に見積書を提示する明朗会計を原則としており、15万円から50万円の葬儀料金のほか、施主の希望に応じてお布施や料理代などオプションの追加も可能。200万円以上ともいわれる葬儀費用の「相場」からすると格安な料金設定となっている。インターネットのみのプロモーションだが、昨年12月から2月までに既に10件以上の葬儀を実施したほか、問い合わせや相談も多数寄せられるなど、予想外の反響を呼んでいる。

葬儀事業参入は、山口社長が保険代理店業に携わる中で感じた葬儀に対するある思いがきっかけだった。同社は2004年の創業以来、来店型ショップの運営をベースに生保中心の保険募集で順調に実績を伸ばし、死亡保険金の支払い手続きも10件以上経験している。そうした中で山口社長が保険金支払いを受けた遺族からたびたび聞かされたのが「悲しむことすらできなかった」という悲痛な言葉だった。「病室で家族が亡くなるとすぐ、病院と付き合いのある葬儀業者を紹介され、言われるがままに動き回っているうちに流れ作業のように葬儀が執り行われる。式が終わって一段落すると、今度は遺産相続で親族が対立するなど、すっかり疲弊してしまう顧客をよく目にしてきた」という。



同氏は顧客に安心を提供する保険代理店の立場から、何かできることはないかと考え、葬儀業界について本格的に調査を開始。外資系の葬儀運営会社や葬儀雑誌の編集長などを訪れて話を聞くうちに分かってきたのが、葬儀費用の不明瞭さや式典の形式化に象徴される業界の古い体質だった。同氏は「故人をしのびながら送る」という本来の葬儀の在り方を広めたいという思いと、保険と隣接する同事業のビジネスとしての魅力から参入を決意した。

しかし、不明瞭な価格帯やサービス内容のため、料金を設定するための市場調査は難航。一度は事業参入を断念しかけたが、何とか踏みとどまって1年半後にようやくスタート。司法書士事務所と提携して相続トラブルを回避するための遺言信託事業を既に手掛けていたことから、現在では生保・葬儀・遺言信託をサービス・パッケージとした相乗効果が挙がっている。また、同ビジネスに興味を持った生保会社が同氏に依頼したセミナーでも、葬儀業界や新事業についての講演内容が好評を得ているという。

今後はサービスの質を一段と高めるとともに、ほかの保険代理店にもアウトソーシングとして同サービスを提供することで、さらなる事業拡大を図っていく考えだ。

「当サービスはお客さまに古き良き日本の葬儀を経験してもらいたいという気持ちから始まった。万が一のときに保険金をお届けするのが当社の最大の仕事ではあるが、家族が亡くなったときに最後のセレモニーを提供したり、トラブルなく事後手続きをサポートすることも、問題を解決し、安心を提供するという意味では同じ。今後もお客さまやその家族とは永続的なお付き合いをしていきたいと考えている。また、当社だけでなく、ほかの募集人もエンディングサポートサービスを顧客へのソリューションとして活用してもらいたい」として、新サービスの保険業界での浸透に意欲を見せている。

金融機関窓販

三井住友海上メットライフ生命

肥後銀行で「モンターニュ」販売

三井住友海上メットライフ生命は3月1日、肥後銀行で通貨選択型の定額個人年金保険「MONTAGNE(モンターニュ)」の販売を開始した。

同商品は、米ドル、豪ドル、ユーロ、日本円の中から契約通貨を選べる。契約通貨が外国通貨の場合、日本円で入金できる（円入金特約）。積立期間は3年・5年・7年・10年から選択できる（円建ては10年のみ）。積立期間中の利率は固定されているので、積立期間満了時には契約通貨での年金原資が確定する。積立期間中には、契約時の予定利率で複利運用される。

4種類の年金受け取り方法、または一括受け取りから選ぶことができる。

契約年齢は、米・豪ドル、ユーロの場合、3年は0～87歳、5年は0～85歳、7年は0～83歳。米・豪ドル、ユーロ、日本円いずれも10年は0～80歳となっている。

基本保険金額は米ドルの場合、最低2万米ドル。最高は、75歳以下で500万米ドルまたは、契約日時点の円換算額5億円のどちらか低い額。76歳以上で100万米ドルまたは契約日時点の円換算額1億円のいずれか低い金額。

豪ドルの場合は、最低3万豪ドル。最高は、75歳以下で750万豪ドルまたは、契約日時点の円換算額5億円のどちらか低い額。76歳以上で150万豪ドルまたは契約日時点の円換算額1億円のいずれか低い金額。

ユーロの場合は、最低2万ユーロ。最高は、75歳以下で500万ユーロまたは、契約日時点の円換算額5億円のどちらか低い額。76歳以上で100万ユーロまたは契約日時点の円換算額1億円のいずれか低い金額。

日本円の場合は、最低200万円。最高は75歳以下で5億円、76歳以上で1億円。

第一フロンティア生命

中央三井信託で「プレミアステップV」販売

第一フロンティア生命は、3月1日から中央三井信託銀行（奥野順取締役社長）で、年金原資運用実績連動保証型変額個人年金保険（10）「プレミアステップV」の販売を開始した。また、今後同商品の取り扱い金融機関の拡大を図っていく予定。

「プレミアステップV」は、年金原資額と死亡給付金額が最低保証される安心に、その最低保証がステップアップする楽しみをプラスした年金保険。

同商品の年金原資額と死亡給付金額は、基本保険金額（一時払保険料）の100%が最低保証される。

また、運用実績に応じて、最低受取保証額が110%から5%ごとの額にステップアップする可能性がある。このステップアップした最低受取保証額は下がることはない。

同商品の特別勘定は、投資する資産の価格の変動に応じて資産の配分比率を毎日見直してリスクをコントロールしつつ、長期的な資産の成長を目指す。

さらに、契約時に初期費用の負担がないため、一時払い保険料の全額を特別勘定で運用できる。

同社では、第一生命グループの総合力を最大限に生かし、顧客ニーズに対応した商品・サービスをタイムリーに提供していくとしている。

「中国ビジネス」を展開する皆様へ　定価2,730円（税込）送料290円　B6判・248頁　2008年12月刊
日・中・英対照
中国保険用語辞典
―詳しい日本語解説付き―
ニッセイ基礎研究所 沙 銀華・片山ゆき 著
保険毎日新聞社
お申し込みはFAX 03-3865-1431
インターネットからもお申し込み可能です
→ http://www.homai.co.jp
〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-4-7
電話 03(3865)1401